

『ごろ吉と仏さま』（泉南市）	H10年3月作成
むかしむかし海会寺がまだあった頃、ぐうたらな「ごろ吉」が海会寺に仏像を盗みに入り、仏様に救われるという日本霊異記に記された説話をアレンジした作品。分かりやすい絵柄、ストーリーで、一番上演回数が多い作品です。	
『はす物語～瓦とはすのふしぎなつながり～』	H10年10月作成
海会寺跡でみつかった軒丸瓦の文様のモチーフにもなっているハスの花についてのお話。	
『タコとねずみ』（トンガ王国）	H11年9月作成
南の国トンガ王国ではネズミの形のルアーを使ってタコを捕ります。それはどうして？トンガ王国で伝わるお話を楽しくアレンジした作品。小さいお子様でも楽しんでいただける作品です。	
『城をまもったタコ』（岸和田市）	H11年10月作成
戦国時代、根来衆に攻められる岸和田城を救った蛸地蔵の不思議な逸話を分かりやすく紙芝居にしました。蛸地蔵という地名の由来にもなったお話です。	
『お菊山』（泉南市）	H12年6月作成
大坂夏の陣で悲運の生涯を閉じた女性「お菊」の物語。泉南市の新家に「お菊山」という名で残り、悲しい物語が今でも語り継がれています。	
『神のくにづくり』（泉南市）	H12年12月作成
神の子孫であるふたりの兄弟が、みんなが平和に暮らせる国をつくるまでのお話。記紀の神話をヒントにいろいろな神様が登場する作品。動きがある作品で演じている方もつい引き込まれてしまう冒険ストーリーです。	
『天女と牛かい』（中国）	H13年8月作成
一年に一度、七月七日の夜にだけ会うことを許された天女と牛かい。七夕信仰と中国伝説をヒントにした夏の代表的な星座にまつわる物語。	
『くわばらくわばら』（和泉市）	H14年3月作成
和泉国桑原村に伝わる、鎌倉時代の僧・重源と雷との伝説を題材にしている作品です。恐ろしいものに出会った時につい唱えてしまう「くわばら～くわばら～」の語源となった物語。方言で演ずるということに焦点をあてた楽しいお話です。	
『ドキドキ物語』	H14年8月作成
縄文時代の人々の暮らしぶりを考古学的事実に基づいて再現し、物語化した作品。土器の誕生や当時の生活などを分かりやすく説明しています。	
『蟻通し明神』（泉佐野市）	H15年3月作成
泉佐野市長湊に所在する蟻通神社(ありとうしじんじゃ)に伝わる、親孝行な息子の知恵くらべのお話で、神社の名称の由来を物語化した作品。	
『一寸法師』（大阪市）	H15年8月作成
大阪市所在の住吉大社にまつわる、日本を代表する昔話。小さいお子様にもおすすめです。	
『壺の中身』（阪南市）	H16年3月作成
阪南市に伝わる昔話。ひょんなことから山の中でお宝入りの壺をみつけた、真面目なある夫婦の心の揺れ動きを愉快地に描いた作品。	
『くずのはキツネ』（和泉市）	H17年3月作成

和泉市・信太に伝わる昔話。歌舞伎でも多く演じられている、子供を想う母狐の情愛を描いたとても美しい民話です。